

インバウンド観光勉強会の設置について

北海道運輸局
鉄道・運輸機構

1. 設置の趣旨・目的

倶知安駅及び駅周辺地域に関し、インバウンド観光振興の観点から見た場合に求められる機能について理解を深めるため、インバウンド観光勉強会を開催する。具体的には、有識者からのヒアリング及び内外の事例調査を行い、世界屈指のリゾート地域であるニセコエリアのゲートウェイとして北海道新幹線倶知安駅及び周辺地域に求められる機能について、関係者の理解を深める。

また、ニセコエリアの今後の可能性、倶知安駅に対する期待等について内外に発信すると共に、地域の理解を促進するため、シンポジウムを開催する。

2. 構成員

倶知安町 町長	文字 一志
倶知安商工会議所 副会頭	本田 哲
一般社団法人倶知安観光協会 代表理事	吉田 聡
倶知安駅を核とするインバウンド等対応策検討協議会座長	木村 宏
北海道 総合政策部鉄道担当局長兼新幹線担当局長	木村 敏康
北海道旅客鉄道株式会社 常務取締役総合企画本部長	渡利 千春
鉄道・運輸機構 北海道新幹線統括役	岸谷 克己
鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局 局長	竹津 英二
北海道運輸局 局長	加藤 進

※事務局：北海道運輸局、鉄道・運輸機構

3. スケジュール

R3.12月 第1回勉強会

（テーマ）ニセコエリアの現状（旅行者の実態・ニーズ含む）及び今後の開発計画

R4.1月 第2回勉強会

（テーマ）新技術の活用（MaaS、顔認証システム等）

R4.2月 第3回勉強会

（テーマ）内外の事例（海外リゾートにおける取組等）

R4.3月 シンポジウムの開催

ニセコエリアの今後の可能性、倶知安駅及び駅周辺地域に対する期待等について内外に発信すると共に、地域の理解を促進する。